



広報 No.30
2016年1月
新春号



クリスマスコンサート「天地創造」より「御神の栄光を語り」、「メサイア」より「ハレルヤ」
カンタータ BMV147 より「主よ人の望みの喜びを」

新春号に寄せて

団長 大森利治

皆様、明けましておめでとうございます。本年も
よろしくお祈りいたします。

昨年はこれまでにない程目一杯やったという気が
致します。15周年という事もありましたが、皆様の
レベルが上がってきた結果として新しい企画と選
曲が生まれたものと思っています。

本年は基本的には前年と変わらぬ発表会を予定
していますが、昨年の発表会のお客様のアンケート
の結果を勘案致しますと、期待が大きい分、益々新
しい企画を立てて取り組まなければならないとい
う思いに駆られます。

昨年の創立 15 年を経て今年の団年齢は 16 歳で
す。子供達の学年齢から云いま
すと高校 1 年生に当たります。
高校 1 年生と云えば、小、中学
生の頃に比べてかなり広い世
界へ飛び出す年齢です。私達も
16 歳、大きく飛躍できる年齢
に達しました。皆さんは 16 歳
も年を取ったと云われるでし

ようが、日頃の皆さんを拝見していますとなかなか
どうして、決してそうとは思えません。一年の計画
を着実にこなすことで年齢を重ねるのを忘れてい
るよう見えます。

以前紹介しました「青春の詩」の一節を再度紹介し
て今年の成長を祈願します。

人は信念と共に若く・・・

人は自信と共に若く・・・

希望ある限り若く・・・

さあ、今年も希望を持って邁進しましょう！！



「乾杯の歌」



クリスマスコンサート

昨年12月16日(水)ひらの混声合唱団結成15周年にあたるクリスマスコンサートが盛況の中終わることができました。例年と違ったオープニングにお客さまは、「何かが始まるワクワク感。」がしたそうです。そして、「期待通りとても楽しいコンサートだった。」と。これも先生方のご指導並びに団員の皆さんの努力のたまものです。開演に先立ち、平野区長藤井様・大阪市平野区コミュニティ協会平野区支部協議会会長川添様よりご挨拶をいただきました。助成・共催・協賛いただいた団体やお世話になりました皆様、また賛助出演いただいた皆様に感謝いたします。

合唱団に念頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。例年のない温かいお正月をご家族皆さんでお迎えになられたことと思います。

節目の15回ひらの混声合唱団クリスマスコンサートもたいへん盛會に終えられ、今年は16回目を迎えます。

「平野の街を音楽いっぱいの街」に、「平野に住んで良かった」と思える街に！を求めて先人たちが力を合わせて合唱団を作り上げ、はや15年が過ぎました。

合唱団も「第九」を目標に団員を募り、テレマンオーケストラのご指導のもと、遠い存在と思いがちの「クラシック」を、区民に親しみやすく浸透させていただきました。

ひらの混声合唱団は、クリスマスコンサートだけでなく、「ひら混ジョイ・コーラス」、「大阪市コミュニティ合唱祭」と活動の場を広げられ大阪市に「ひらの混声合唱団」ありと言われるまでに成長されました。まことに喜ばしいことと思います。

これには、全面的にバックアップいただいているテレマン協会、直接ご指導を頂いている藤田先生、ピアノの竹村先生方の献身的なご助力なしではできなかつたと承知しています。

それに忘れてはならないのは、歴代区長もさるこ

平野区民センター事務局長 佐藤寿男様

とながら、藤井区長の音楽に対するご理解とご支援、鈴木課長はじめ課員の方々のきめ細かなご支援は、まことにありがたいことだと思います。クリスマスコンサートの寒いときに区役所の皆さんのカイロ持参の駐車場警備には、いつも胸が熱くなります。

平野区はこのように、行政と区民が一体となって協力し素晴らしい街を作っている区です。

ひらの混声合唱団の皆様もたいへんなご苦勞がそれぞれにあったことでしょう。

最近の「スマップ」騒動に見られるようにグループ、団体を結束固く纏めていくには大森団長のリーダーとしての力量は言うに及ばず、フォロアーシップとして団を支えていく団員の皆様の活躍が求められていると思います。

そのバランスが崩れると団として活動はおぼつかないと思います。団長と団員、指導陣、スタッフと今の合唱団の素晴らしいバランスを保ちながら今年も素晴らしい1年となるようにコミュニティ協会も全力でご支援したいと思います。

結びになりますが、15年経過したと言うことは、それぞれ15歳年を重ねたことになります。次に続く団員の育成も視野にお体に十分ご留意をされ、皆様にとって素晴らしい1年になることをお祈りいたします。



お客さまアンケートより抜粋

事務局

♪ 今年は趣向を変えてのコンサート、親しみやすさを会場と一体になれるような雰囲気を感じとても素晴らしかったです。

♪ プログラムにはないクリスマスプレゼントとして歌われたテノールの独唱が素晴らしく感動しました。

♪ 平野区の文化発展は地域とのかかわりがあり、素敵です。持続をお願いします。

♪ 延原先生の、心の奥に語りかけるようなオーボエの音色、「水色のワルツ」は胸にしみました。

♪ プロとアマの混合で各々が素敵でした。合唱団の方々も素敵な年齢の重ね方をされている気がしました。みなさんいきいきされて輝いていましたね。



「水色のワルツ」



「カタリ・カタリ」

「オー・ソレ・ミオ」

朝日新聞「特別号外」

広報

「ええっ！？これ今終わったとこのコンサートやで、わっ凄い！」

この感動を味わって頂きたくて1年以上前から準備をしていました。1年前のクリスマスコンサートリハーサルでは朝日新聞の方2名に下見をしていただき、昨年9月から具体的な打ち合わせに入りました。15周年のサプライズ企画のため、皆さんにもマル秘でした。ごめんなさい。

当日午後3時半には朝日新聞から6名の方が、印刷機4台を持って来られました。コンサートの休憩中には、広報もテレマンの今井氏と記事内容の確認にてんてこ舞いでした。印刷の都合で8時半締めの記事内容です。さすがプロ！！素晴らしい「号外」に感謝・感謝です。スタッフのご好意で、団員用にコンサート終了までの記事内容に修正した号外を「2版」として後日ご送付下さいました。

朝日新聞スタッフの皆様、大変お世話になりまして本当にありがとうございました。

後になりましたが、工事中で部屋数が足りないところを工面して交流室を使用させて頂きましたこと、平野区民センター様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



新春懇親会



藤田瑞穂先生

皆様あけましておめでとございます。今年もどうぞよろしく申し上げます。

合唱団も15年を越え、16年目にさしかかっていきます。皆さん中学を卒業して高校生になるのですね。今年も新しいチャレンジを盛り込みつつ、練習していきたいと思います。

去年苦労した「椿姫」の早口言葉も、本番は楽しく「乾杯！！」と出来たのでよかったのではないかと思います。もう食わず嫌いは止めて、やったことがないことをドンドンチャレンジしていけば、世界が広がるということを学んでいって欲しいと思います。「やったことがないから止めときましょう！」という声を聞き流しながら、今年も進んでいきたいと思います。皆さんしっかりついてきてくださいね！

どうぞよろしく申し上げます。



ソプラノの森岡千恵子さんがご友人と共に（三味線3名、尺八1名）、素晴らしい演奏「博多夜船」「花売娘」をご披露してくださいました。歌の応援もあり、お正月らしい華やかなステージでした。



“ひら混ジョイ・コーラス”演奏会の予告

開催日：2016年5月28日(土)

場所：クレオ大阪南

第3回目となる今年は、音響効果の良い会場で演奏したいとの長年の夢が叶い、クレオ大阪南をとることが出来ました。このコンサートの趣旨「観客も共に楽しみ、合唱し、平野区の歌を愛する人々を通じての音楽文化の向上」のもと、楽しいコンサートにしていきます。

演奏曲目は外国の歌、日本の歌の構成、藤田先生、中塚先生のソロ演奏を中心とした内容です。

♪混声合唱は、小林秀雄作曲混声合唱曲集「落葉松」より、「飛騨高原の早春」、「あなたとわたしと花たちと」、「落葉松」、外国の歌では、「ウイーン我が夢のまち(R.ズイーチンスキー)」、「アヴェ・マリア(バッハ・グノー)」、「野ばら(シューベルト・ウェルナー/源田俊一郎編曲)」。

♪男声合唱は、「埴生の宿(H.R.ビショップ)」、信時潔作曲男声合唱組曲“沙羅”より「丹澤」、「鴉」、古寺ななえ編曲“合唱で時代劇”より「銭形平次」、「ああ、人生に涙あり(水戸黄門)」を予定しています。また、観客と一緒に歌うコーナーでは、「青い山脈」、「花」、NHKの朝ドラ主題歌「365日の紙飛行機」より選択予定。

コーヒーブレイク



新聞のエッセイに次のことが記載されていました。

『脳の中の「記憶」を司る部位を「海馬」と言います。人の脳には1000億個の神経細胞があり、年を重ねるにつれてどんどん減っていきませんが、海馬の細胞だけは、使えば使うほど増えるとも言われています。』

海馬が顕著に活動するのは、新しいものと出会ったり、初めての場所に行ったりしたときだそうです。そういうとき、海馬は目の前にある、今見たり感じたりしているものをキチンと記憶しようとしています。

普段から刺激と興奮を求めるような生活を心がけること、何にでも興味をもつ「好奇心」と「探究心」こそが、記憶（脳）の活性化にとって一番大切なことです。

アンテナを巡らせながら人生を楽しむこと、常に前向きな気持ちで毎日を過ごすことが、記憶力だけでなく、人生そのものを豊かにすることにつながるのではないのでしょうか。』

合唱で日々歌い、プレッシャーを感じながら新しい歌の暗譜の努力をしていることは、脳の活性化にきっと役立っているはずですね！

皆さん、頑張りましょう！！

～ 編集後記 ～

団だより作成にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。15周年のクリスマスコンサートも無事終わることができ、一息ついたところですが、広報担当では、団だよりの発行、音取りCDの作成、5月の“ジョイ・コーラス”の準備と息つく暇がなくがんばっていますので、ご協力・ご支援の程お願い致します。

(後藤・萩原)

